

**福祉系科目実習****①介護保険施設サービス実習**

(指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設のうちいずれかの施設)

**②地域包括支援センター実習****③福祉行政実習**

(市町村、福祉事務所、児童相談所等のうちいずれかの施設)

**④介護保険地域密着型サービス実習**

(夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護のうちいずれかの在宅サービスを提供している施設)

(①～④のうち、2施設を選択)

**※実習について**

- ・実習は受講者が希望し、学会が承認した施設(原則として自施設は除く)において履修します。
- ・共通科目実習は2施設、医療系科目及び福祉系科目は各施設・サービスのうち、夫々2施設を選択履修し、その後レポートを提出します。

**<募集要項>****○受講資格**

- ・医療福祉連携士を目指す方及び医療福祉連携分野に関心の高い方
- ・日本医療マネジメント学会会員であることを原則としますが、学会非会員でも受講できます。講習(実習を含む)については、全ての受講が原則ですが、受講者の申請により実行委員会の審査を経れば、以下の免除ができます。

①医療系の国家資格を有するものは医療系科目

②福祉系の国家資格及びこれに準ずる資格(例：臨床心理士等)を有するものは、福祉系科目

③大学院において、医療福祉連携に関する課題により修士又は博士の学位を取得し、且つ、テーマが地域医療福祉の連携に関するものであると実行委員会が認めたものは医療系科目又は福祉系科目あるいは両方

**<医療福祉連携士認定試験の受験を希望される方へ>**

- ・学会認定試験ですので、学会の会員であることが必要です。
- ・本講習の履修が必須です。
- ・その他医療福祉連携士認定試験に関する情報は本学会ホームページを参照下さい。

**※認定試験の免除科目はありません****○参加費 100,000円(但し、学会非会員110,000円)**

※参加費の有効期間は2年間です。

※実習、宿泊及び交通に掛かる費用は自己負担です。

※交流会会費は3,000円です。左記参加費に3,000円を加えて同時に御入金ください。

○定員 120名(定員を満たし次第締め切らせていただきますので、早めにお申込み下さい。)

○受付期間 2015年3月13日(金)～2015年4月27日(月)

○問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局

**2015年度第1回医師事務作業補助者講習会**

テーマ：講義と模擬カルテによる書類作成の実務実習を通じた実践力の涵養

医師事務作業補助者の養成のための講習会を下記要領で開催しますのでご案内致します。本講習会は、「医師事務作業補助体制加算」を申請するために必要な、厚労省が定める「32時間の医療に関する研修」の要件を満たしております。医療関連法規・医療安全・感染対策などの基本を、経験豊富な講師陣が解説します。さらに、臨床医による医学用語の詳説、模擬カルテを用いた書類作成の演習など、現場で役立つ実践力の涵養に重点を置いた4日間の講習会です。

実務研修のため定員が限られていますので、お早めにお申し込み下さい。本講習(全過程)修了者には、講習修了証明書を交付いたします。

・日時 2015年5月30日(土)、31日(日)、6月20日(土)、21日(日)  
(第1クール1日目5月30日は8:30受付開始、

第2クール1日目6月20日は9:00受付開始)

・会場 日本医科大学 教育棟2階 講堂、3階 講義室3  
(〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5)

・プログラム ※授業の順番等は変更になる場合があります。

**第1クール****第1日 5月30日(土) 7時間**

8:30	受付
9:20	開講式・オリエンテーション
9:30～10:30	病院組織、医師事務作業補助業務(概論)
10:30～11:30	医療書類(書類一般)
11:40～12:40	診療録
12:40～13:30	昼食
13:30～14:30	医療安全
14:30～16:30	医学用語(呼吸・循環器)
16:40～17:40	医学用語(筋・骨格)

**第2日 5月31日(日) 7時間**

8:20	受付
8:30～9:30	医療関連法規
9:30～10:30	医療保険、介護保険
10:40～11:40	医療関連感染管理
11:40～12:40	医師事務作業補助業務(先進事例)
12:40～13:30	昼食
13:30～16:30	書類作成(I)